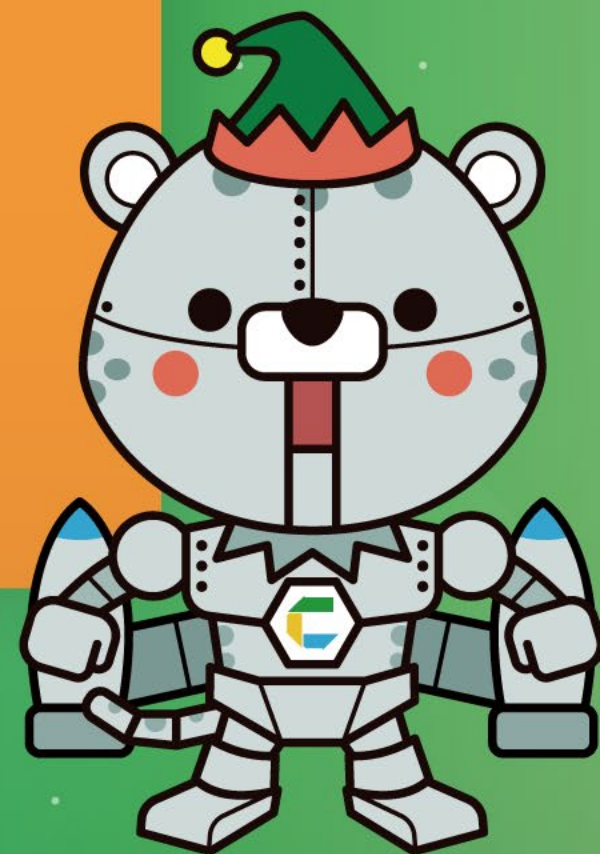




CEL F RPA

ご紹介資料





1 人材不足が引き起こす収益悪化と働き方改革.....	P.2
2 現場効率化の武器『RPA』.....	P.6
3 個人・個別部門業務で使えない、高くて買えない、スキルがなくて作れない そんなお悩みを解決する「CELF RPA」.....	P.11
4 しかし、RPAだけでは解決できない業務課題がある.....	P.24
5 RPAだけではない！『業務アプリ化』を実現する「CELF」.....	P.28

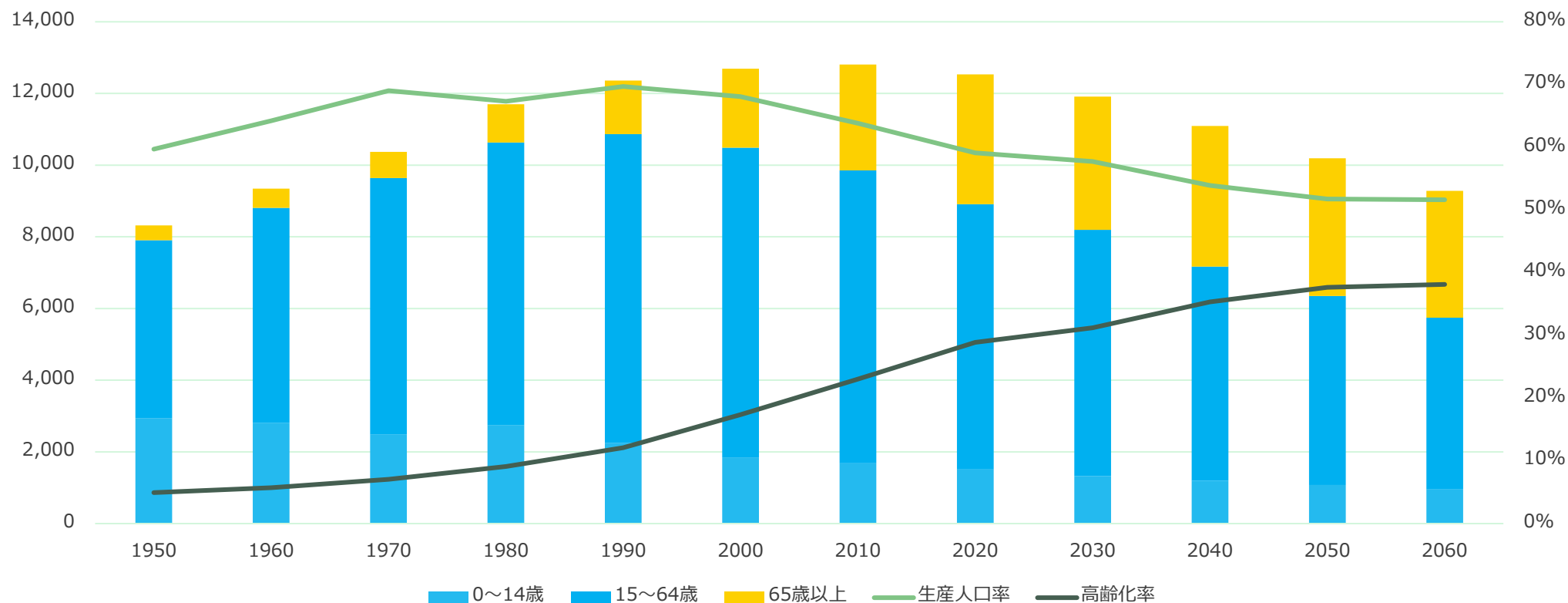
1

人材不足が引き起こす
収益悪化と働き方改革

2017年 7,596万人(総人口に占める割合60.0%)
2040年 5,978万人(総人口に占める割合53.9%)
と減少すると予測

↓ **20%減!**
(5人で1人分の作業実施!)

日本の生産人口



(出展) 総務省「国勢調査」、「人口推計(各年10月1日現在)」

時間外労働や休職による『労働環境の悪化』

忙しさによる『モチベーションの低下』『職場雰囲気の低下』

不満増による『離職者の増加』

離職増による『収益の減少』『顧客流出・技術力低下』

受注の取りこぼし発生

採用までの空白期間・引継ぎ
業務負担増

求人、採用・面接、教育のコスト増

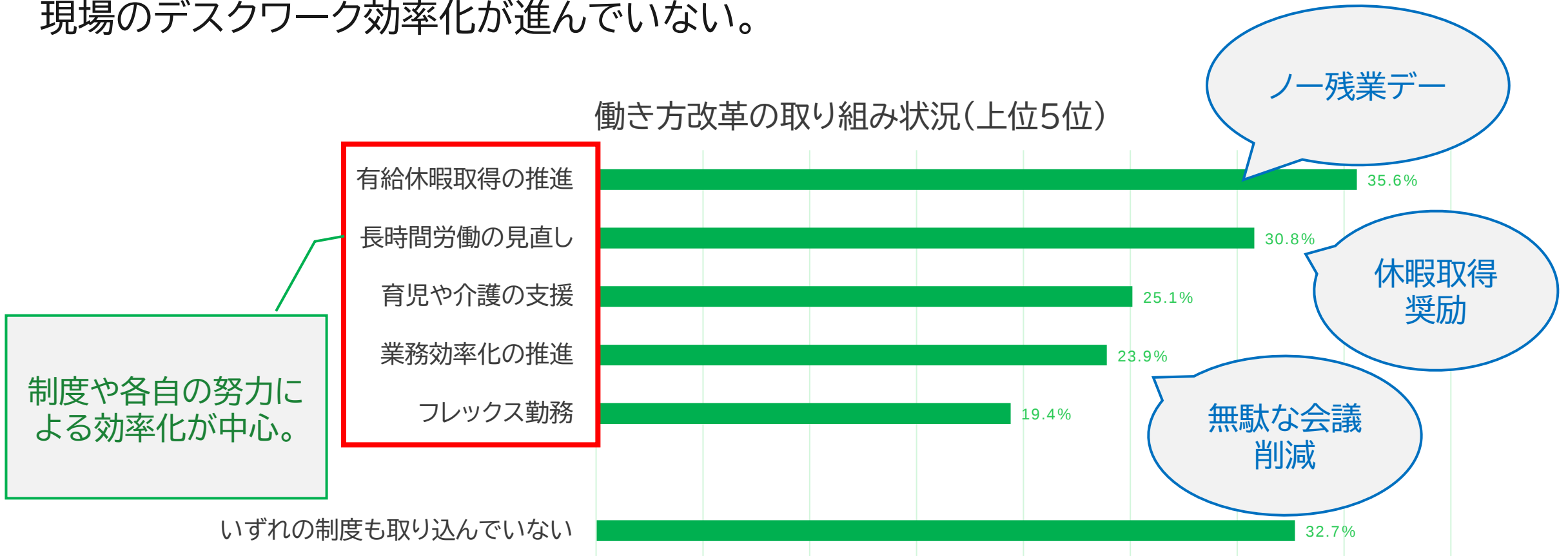
離職者の担当顧客が流出

技術やノウハウの減少

製品・サービスの品質低下

働き方改革は進むが・・・？

制度による「働き方改革」への対策は進むが、日本国内の人材不足によりやらないといけない作業は減っておらず現場のデスクワーク効率化が進んでいない。



現場効率化の『武器』に投資が必要となっている！

| 2

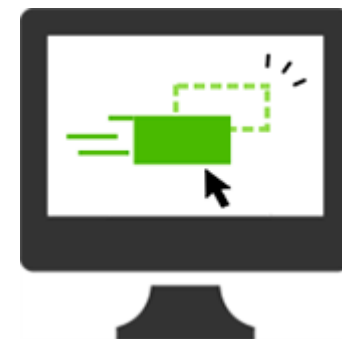
現場効率化の武器『RPA』

*Robotic Process Automation

RPA(Robotic Process Automation)とは、バックオフィスにおけるホワイトカラー業務など、これまで人が手作業で行ってきた仕事を、ロボットに代行してもらうことにより、業務の自動化による効率化やミスの低減を目的としたソフトウェアを指す言葉。

何ができる？

デスクトップ上で人が行うキーボード・マウス操作を、ロボットが代替して自動実行する



どのように？

デスクトップ上で人が行う操作の手順を、ロボットに教える



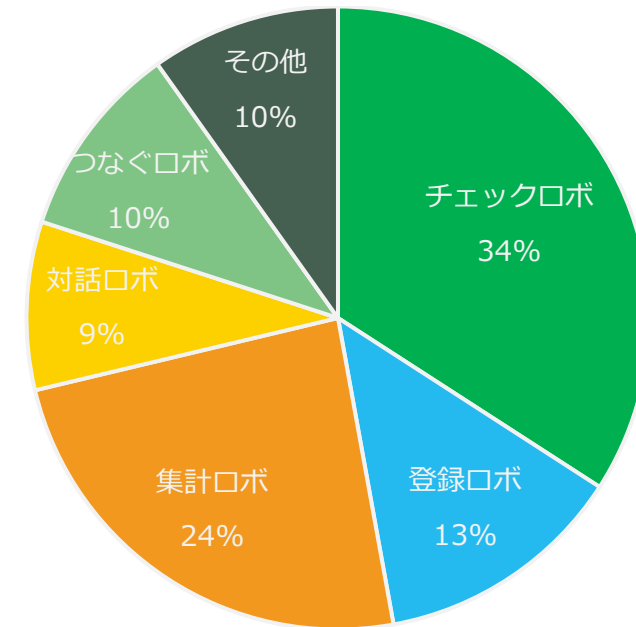
ある一定のルールがある繰り返しの定型業務

「ルールと手順がしっかり決められた定型処理作業」且つ「繰り返し実施される作業」はRPAが最も得意とするものの一つ。RPA化によって業務の所要時間の大幅な短縮と生産性の向上が見込める。

人為的ミスが発生しやすい業務

処理ミスの発生頻度が高い業務に適している。事故を減らすことに加え、事故発生時に行っていたリカバリや再発防止策の検討といった業務時間も減る。

ロボの種類	説明・具体例
チェックロボ	一括でチェック、照合・突合などの作業を自動化。
登録ロボ	一括で伝票をシステムに登録する作業を自動化。
集計ロボ	システムからデータ抽出して、集計、加工、分析までの一連の流れを自動化。
対話ロボ	一斉にメールを配信する作業、受信したメールを元にした作業を自動化。
つなぐロボ	複数システム間をつなぐ。 例)旧システムとの連携、合併後のシステム連携

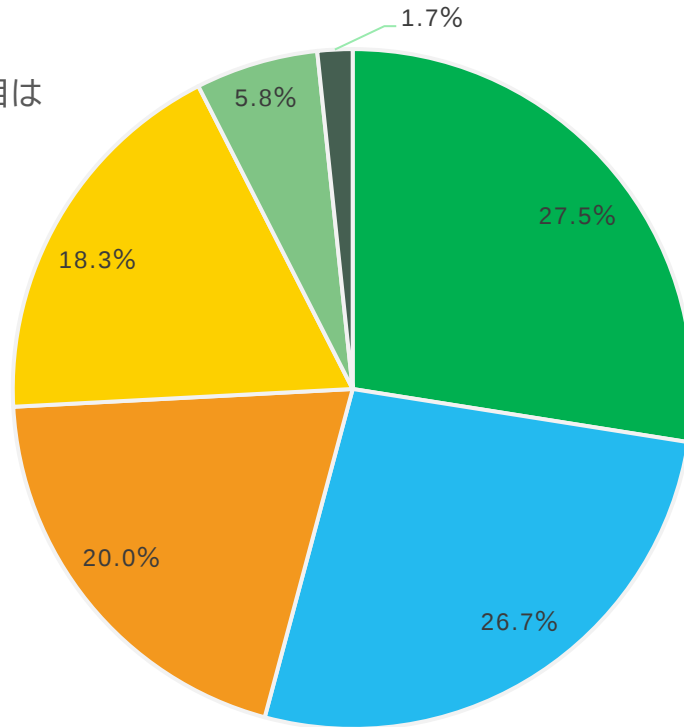


2019年3月 SCSK調査結果(n=613)

武器『RPA』を導入したい。けどできない理由とは？

業務効率化にRPAの導入を検討していてハードルとなっている理由は、
1位 RPAに適した業務の選定 **2位 開発スキル** **3位 価格**となっている。RPAは高価なものも多く、それに見合う業務を選定しなければならないし、開発スキルも高いものが多いのが実情

Q. RPAを導入する上で
ハードルとなっている項目は
何でしょうか？



■ RPAに適した業務の選定 ■ 開発スキル ■ 価格 ■ RPAの管理 ■ セキュリティ ■ その他



その結果・・・

全社で効果がある業務にしか適用されない
個別部門や個人の定型業務は自動化できない



2019年12月 RPA DIGITAL WORLD セミナー参加者によるSCSKアンケート結果(n=80)

| 3

—— 個人・部門個別業務で使えない、
高くて買えない、スキルがなくて作れない

そんなお悩みを解決する「CEL F RPA」

CELF(セルフ) RPAとは

個別組織や個人の業務担当者向けに安価なRPAをCELFで利用可能。現場固有の定型のデスクワーク作業を自動化、ロボットもスクラッチ風に設定可能です。

特長

利用料金は**国内最安級！**

ITベンダー不要！

開発知識を必要とせず、

自分で作って保守もできる

実行環境

デスクトップ型



ロボットを起動する際に、人間が手動で起動。退勤時にRPAを起動させ、夜間で処理を起動させるといったことができます。

起動方法

手動起動型

※Windowsの
タスクスケジューラで対応可能



手動で作業をスタートさせる。
Windowsのタスクスケジュールを活用
することで夜間バッチ処理対応も可能。



利用料

年額 **42,000円**(税抜)

サービス内容



1端末分

(追加1端末 年間42,000円)

ロボ作成数 無制限

基本利用料以外の費用:なし

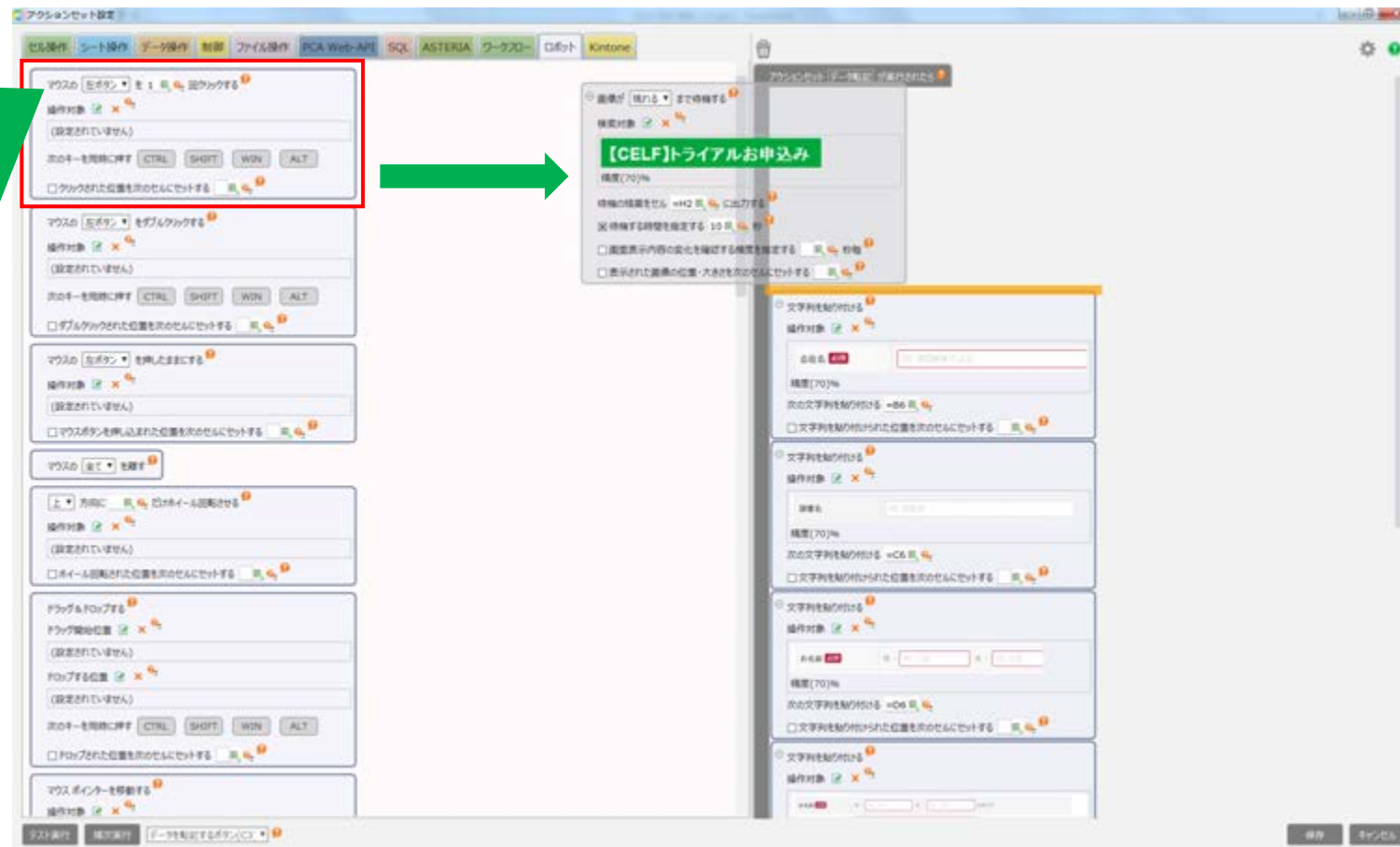
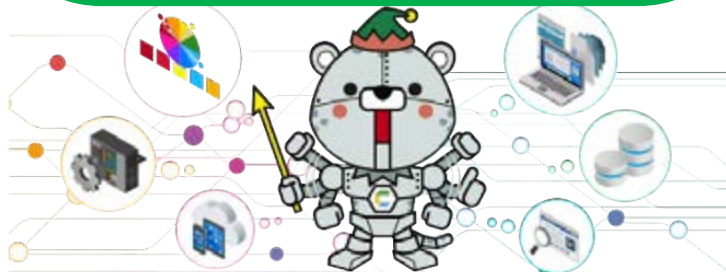
※別途CELF本体の購入が必要です。
(年間210,000円(税抜)・10ライセンスまで利用可能)



個別組織や個人の業務担当者向けに破格な安価のRPA
現場固有の定型のデスクワーク作業を自動化
ロボットも“Scratch”風に設定

自動化するための部品例

- ・アプリの起動
- ・マウス操作
- ・キーボード操作
- ・画面操作
(画像認識・オブジェクト認識・座標認識)
- ・データの貼り付け
- ・メールの送信
- ・ファイル・フォルダ操作
- ・Excel・CSVデータの読み込み・出力
- ・・・など



画像認識型

特定の画像や場所をロボットに覚えさせる認識方法



- ・デスクトップ上の画像、座標、領域を直接指定して操作対象とすること可能
- ・画像ファイルを対象とすること可能

オブジェクト認識型

ボタン、テキストボックスなど(=オブジェクト)を認識させる方法



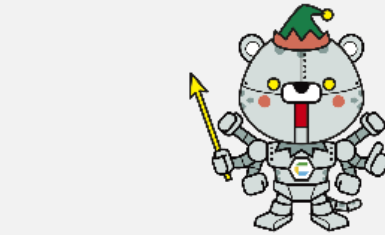
- ・デスクトップ上のオブジェクトを直接指定して操作対象とすること可能
- ・CELF RPAがオブジェクト認識することができるのは **Microsoft edge**、かつ**HTML**で作成されているもの

各ファイルやメール、Webサイトからデータを取得して、
別システムに転記などが可能に。

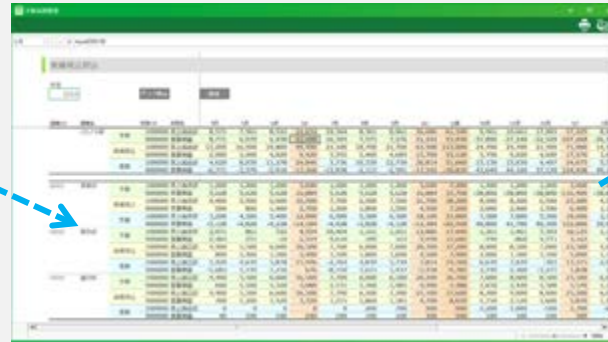
RPA実行イメージ



例)ロボの指示①
Excelファイルデータを
CELFに読み込んで登録



ロボが「操作手順」を自動実行



例)ロボの指示②
CELFのデータを基幹
システムに転記



一般のRPA製品との違い

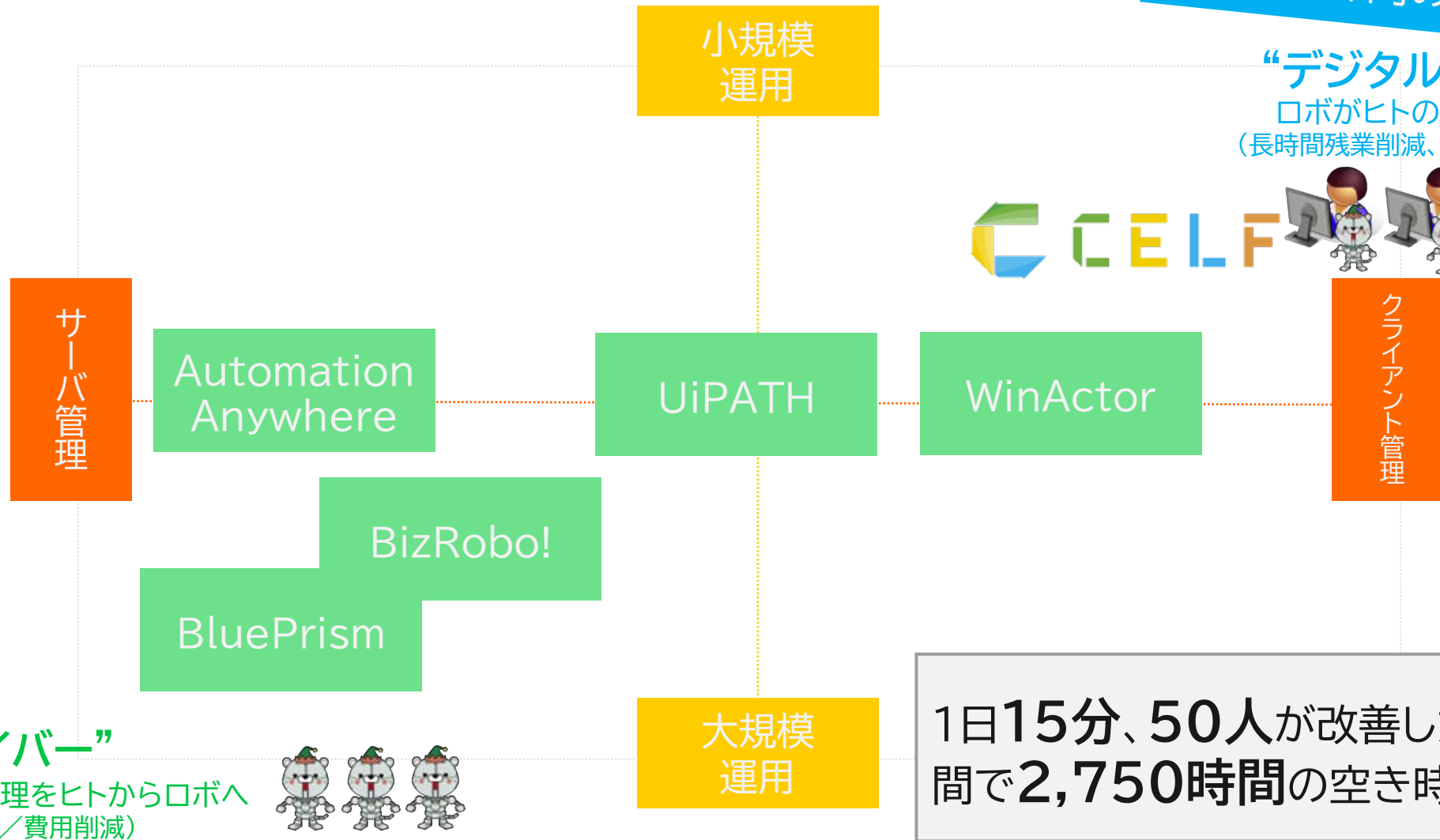


	一般のRPA	CELLF
対象業務	自動化により、数百万円以上の業務改善効果を見込める複雑な業務の改善。	各個人の単純な個別業務を自動化。大勢の人が各個別の業務を改善。
開発元	海外製品が多い	SCSK(国産)
機能	RPA機能	システム開発機能 + RPA機能
操作対象識別方法	画像認識型／オブジェクト認識	画像認識型／オブジェクト認識
利用スキル	高いITスキルが必要	簡単に習得
実行環境	クライアント型／サーバ型	クライアント型
価格(1端末)	数十万円～数千万円／年	42,000円／年

1人にロボ1台の時代へ
～現場部門の強い味方～

“デジタルヘルパー”

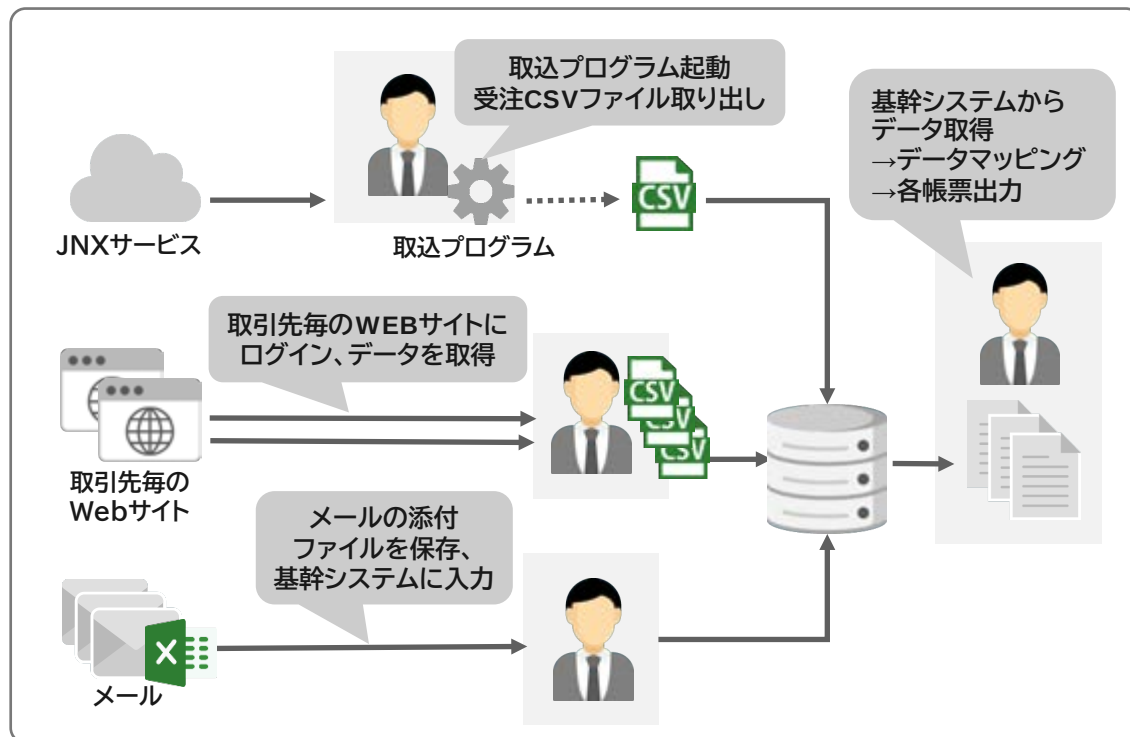
ロボがヒトの業務支援・共創
(長時間残業削減、ヒトが高度な業務へ)



活用シーン ～製造業(自動車)の受注データ登録～

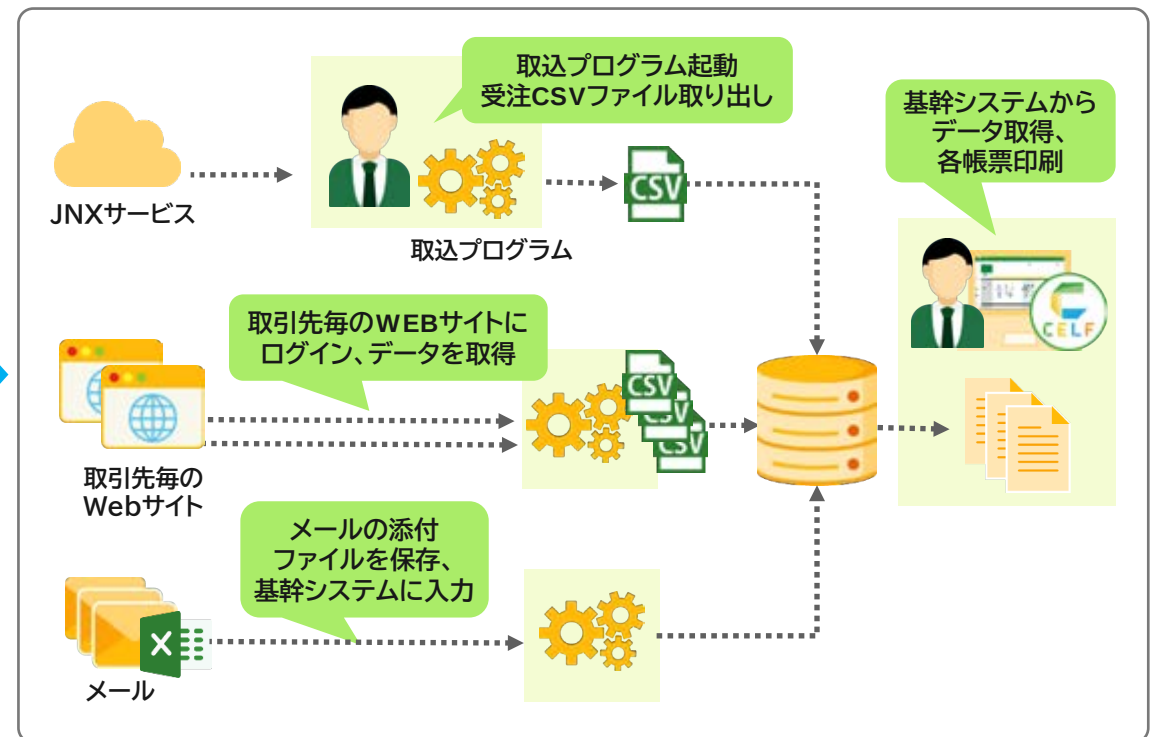
課題

- ・受注データが3つ(自動車共通NWのJNXサービス、Web取引サイト、メール添付)のいずれかで届き、それぞれの方法で基幹システムへの手作業登録が発生
- ・基幹システムからデータを伝票や各帳票へ手作業で転記
- ・基幹システムに一括処理機能がなく、単価等のデータ修正作業が煩雑



効果

- ・3つのシステムごとにRPAを使用し簡単に受注データ登録システムを開発、処理を自動化
- ・基幹システムのデータからで伝票や各帳票へのデータマッピングを実施、印刷までを自動化
- ・基幹システムのデータをCELFに取り込みデータ一括変換後、基幹システムに戻しデータ一括更新を実現



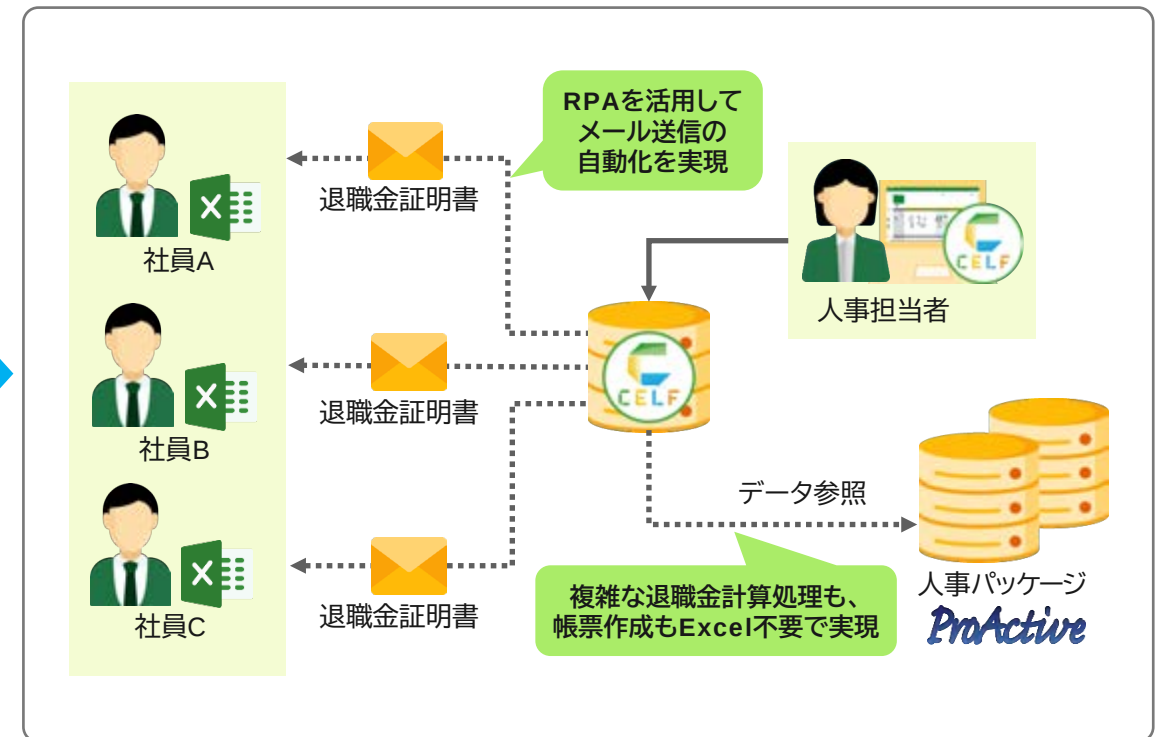
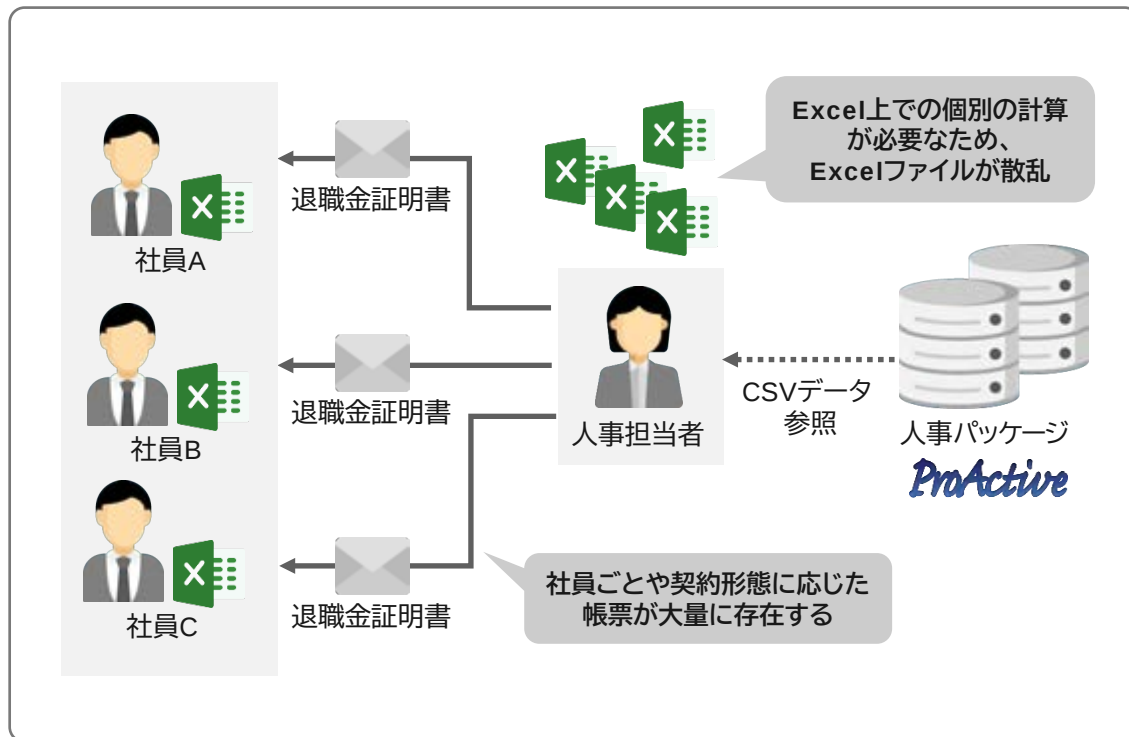
活用シーン ～人事系基幹システムと連携した退職管理～

課題

- ・ProActive(人事パッケージ)の周辺業務として、退職管理業務に多数パターンの帳票が必要だが、Excelで管理し切れない
- ・業務に必要なデータを加工してCSV出力したいが、ProActiveのカスタマイズは避けたい
- ・各種証明書などの自社固有の帳票出力機能が必要

効果

- ・データを参照・出力する機能に特化して、退職管理業務で使いやすい直感的なインタフェースを提供し、業務の効率化を実現
- ・ProActiveのカスタマイズせず、ProActiveから出力されるCSVデータを業務に使用する形で抽出する検索画面・データ出力画面を提供
- ・自社固有の各種証明書をCELF上で実現し、多様な帳票出力機能を実現、さらにメール送付作業はRPAで自動化



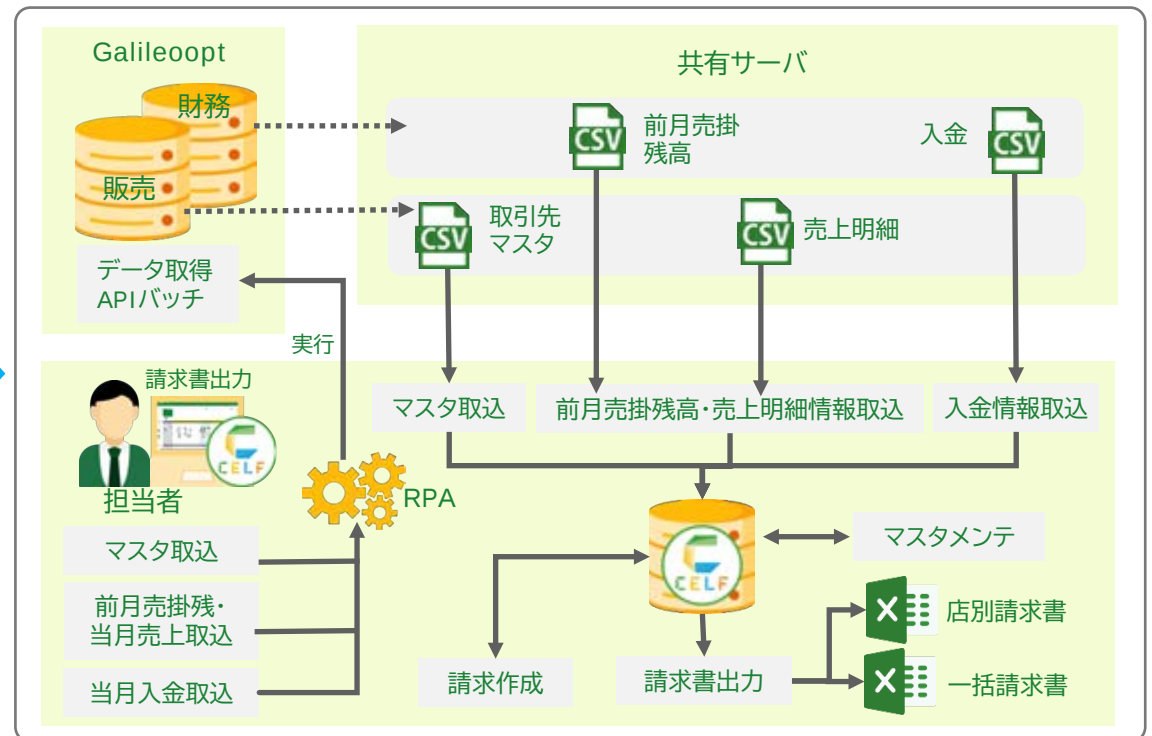
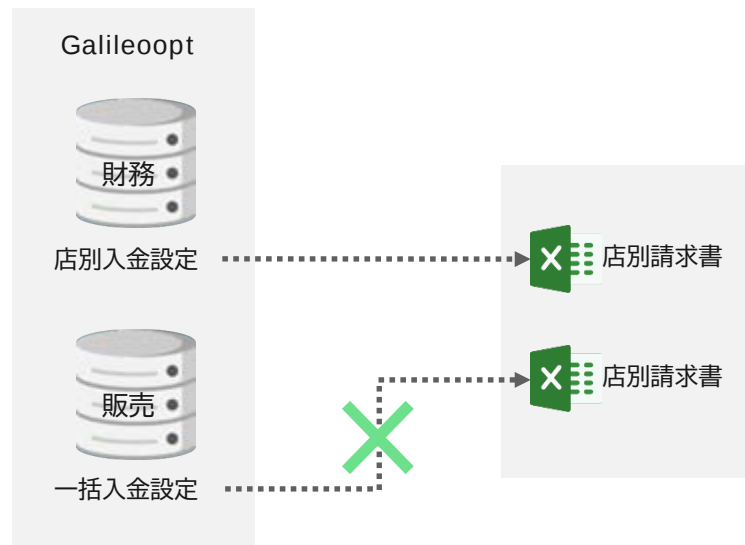
活用シーン ～請求書出力～

課題

- ・各店請求、親一括入金の場合、入金消込後の自動仕訳では、各店別に仕訳が生成されてしまうところを、親一括入金単位で仕訳を起こしたかった
- ・上記を解消するために、親一括請求・親一括入金に運用を変更する必要がある
- ・請求書は、各店別に発行したかった

効果

- ・ CELFからRPAでGalileooptの最新マスタ情報や売掛・売上・入金データを、
取込APIバッチを起動してCELFに取込みが可能
- ・ CELFで請求書を、店別または一括でExcel出力



CELF RPAの活用シーン例



業務	利用者	Before	After
大量見積書の作成	営業部	毎月、契約管理のリストから、保守契約更新時期に数百件の見積書を基幹システムに手作業で登録して作成。	ロボットに左記転記作業をすべて自動化。
取引先マスタの登録	購買部	各部署からの新規取引先マスタ登録申請を目検でチェックして、OKであれば基幹システムに転記、NGであれば再度現場へ修正依頼。	CELFで入力チェック及びデータ一元化。基幹システムへの転記はRPAで自動化。
為替レートの登録	情報システム	毎日、Webサイトを開いて最新の為替レートをコピーして基幹システムのマスタへ登録。	毎日10分の作業を自動化。
受注登録	全社事務職	FAX受注が多く入力業務に問題をかかえていた生産財メーカーは、FAX注文書を文字認識する方法で改善を進めたのではなく、確実にデータ処理を実現するため、取引先に対しEXCELシートに注文数量を記入するよう依頼し、Eメールで受け取るように受注処理の方法を変更した。	こうすることでEメールの受信、添付ファイルからデータの抽出、データ変換、基幹システムへの連携まで、一連のプロセスを確実に自動化。
ライセンス発行業務のメール返答と管理表入力	ヘルプデスク	商品のライセンス発行をメールで受け付けた後、管理表に転記をして、環境を構築及びライセンス証書を作成してメールで返答。	CELFで管理表を一元管理。作業はRPAですべて自動化。
管理職の勤怠チェック	全社管理職	毎日、部下の勤怠を確認して適切な労務状態かをチェック。(不正なサービス残業有無など)また、日々多いとチェックが疎かに。	RPAにて勤怠システムからデータを取得し、CELFにていくつかのチェック処理をさせて不正を検出。
レポート分析	経営企画	今まで手作業で取得した生データから月に1回、分析用の資料をExcelで作成	ロボに自動作成させることで、毎週、もしくは毎日レポートを作成してリアルタイムな分析を実現



飲食店を経営。すべてのお客さまにご満足いただける商品とサービスを提供できるお店づくりをモットーに、昭和47年日本製粉株式会社の子会社として設立。

背景・課題

人手不足のなか、手作業が多い事務作業に限界

管理部の業務内容は多岐にわたり、営業サポート・経理・総務関係など、給与、税金、労働時間管理、就業規則なども担当。人員が減っていく中、手作業が多い事務作業に限界を感じ、時短や働き方改革のために「できること」を模索する日々だった。

売上報告ひとつとっても、まず、基幹システムから各店舗のデータを都道府県毎に画面を開きなおしながらCSVにダウンロードし、Excelに手入力後ファイルをPDF化、それを印刷し各店舗に配信という作業をしていた。



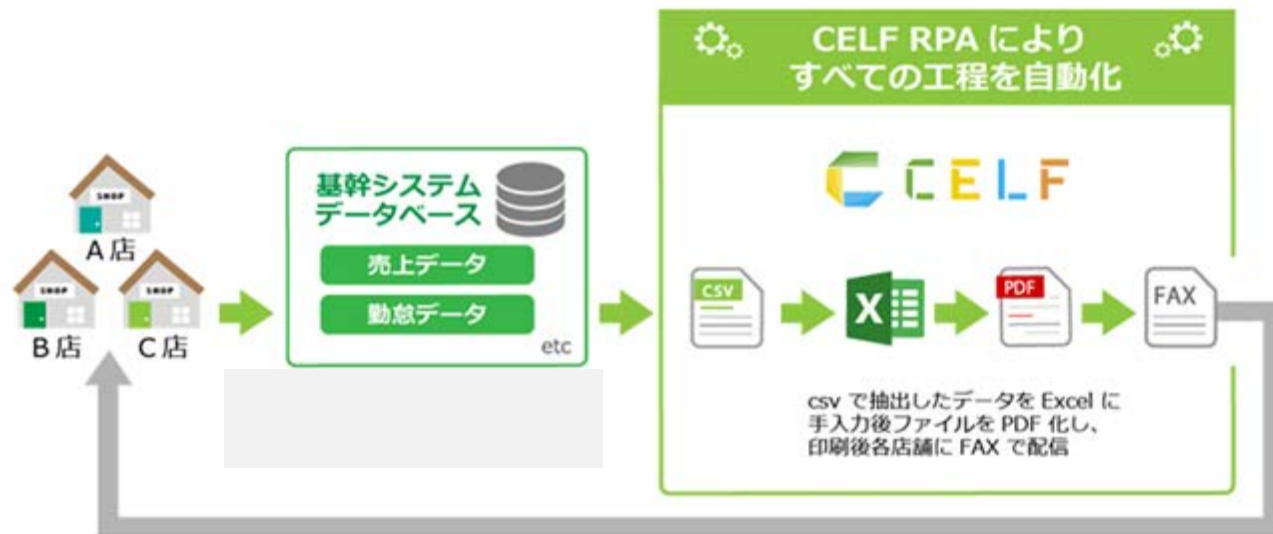
ニップンドーナツ株式会社
管理部 部長
喜多 元樹 様

導入効果

費用対効果的に期待がもてそうなCELF RPAを検討。「30日間無料トライアル」に申し込み、CELF製品紹介セミナーにも参加。他社の製品も比較検討したが、CELFは価格と使いやすさが際立ち「これならいける」と確信した。トライアル期間中に制作したアプリは、現在も稼働している。売上報告について現在は全てCELF RPAによる自動処理で瞬時に完了。おおむね1日3時間ほどの時短になり、以前はできなかった「把握すべきデータ」の確認や、営業担当者へのサポートも可能になった。



ニップドーナツ株式会社
管理部
岡田 佳世 様



ニップドーナツ株式会社
管理部 マネジャ
鍵原 明人 様

| 4

しかし、RPAだけでは
解決できない業務課題がある



業務の課題はRPAだけでは解決できない！

カテゴリ	課題	ツール	対策方法
作業効率	情報の二重入力、二重管理	基幹システムとExcel間	RPA or データ連携構築
	複数人の同一ファイル利用による待機時間発生	共有Excel等	業務アプリ化
	業務引継ぎ時、属人的な管理で引継ぎ工数大	Excelマクロ等	標準化、システム化 技術の見える化
	配布・集計処理により集計用要員の準備	Excel	業務アプリ化
	繰り返し作業の実施	人力(転記、チェック)等	RPA
セキュリティ	配布・集計理により個人情報を含む 情報のセキュリティ担保	Excel	業務アプリ化(権限設定)
資源	配布・集計理により無駄な資源利用 (メールサーバ、ファイルサーバ)	Excel添付、Excel日付 毎のファイル保管	業務アプリ化(履歴管理)
管理	業務用EUC、EUDアプリの把握ができない	Excel、Access	業務アプリ化(統合基盤)
データ利活用	データ(ファイル)が散乱(販売予測等)	Excel、Access	累積管理する業務アプリ化 (データベース化)

- ・RPAツールを導入してみたが、思ったより対象業務が少なく、もしくは小さな業務で費用対効果を生んでいない。ユーザ部門には高価。
- ・RPAだけでは解決できなかった。
手作業や標準化されていない業務は、結局、Excelマクロ、Accessなどと組み合わせて自動化。
- ・RPAはモロイ。
自動操作するシステムが変わったり、環境が変わるとRPAも修正が必要。



RPAは場当たりの対応のツール。本質は **業務アプリ化！**

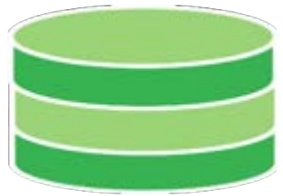
「業務アプリ」とは

業務アプリとは、多くの企業で利用されている「**会計システム**」、
「**勤怠管理システム**」などと同様、以下の3要素で構成されたもの。



画面

入力もしくは検索をするために人が操作するもの



データベース

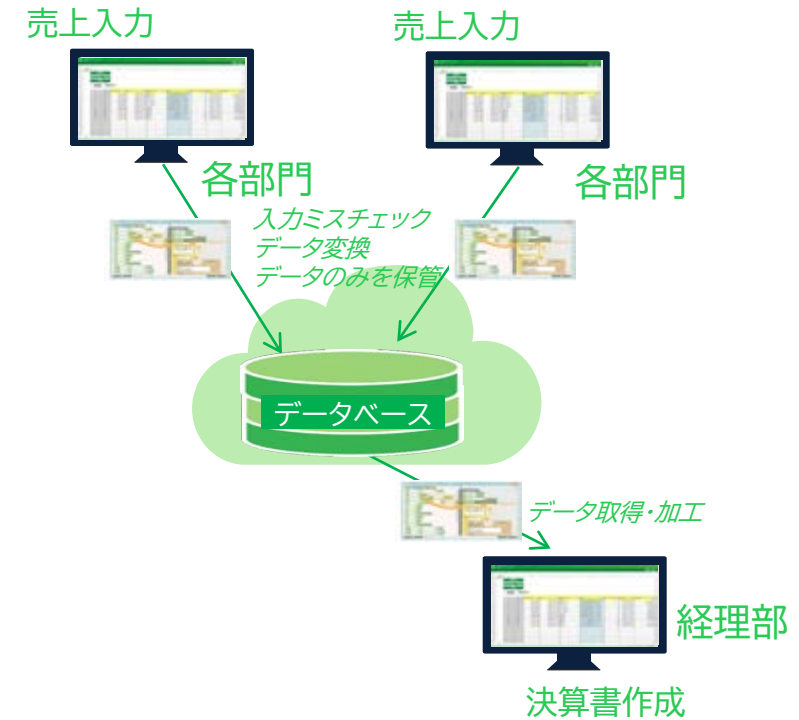
入力した全員分のデータを一元管理するデータ保管庫のこと
データ破損、不正データの入力制限、大量データ保管などが可能



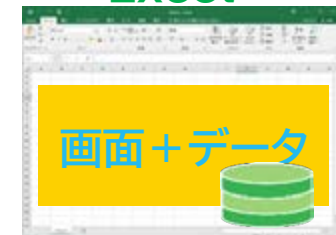
ロジック=プログラム

入力した値を間違っていないかチェック、データの加工・突合、
データベースへの更新・検索、メール送付などの業務に沿った処理のこと

会計システムの例



Excel



| 5

RPAだけではない！

『業務アプリ化』を実現する「CEL F」

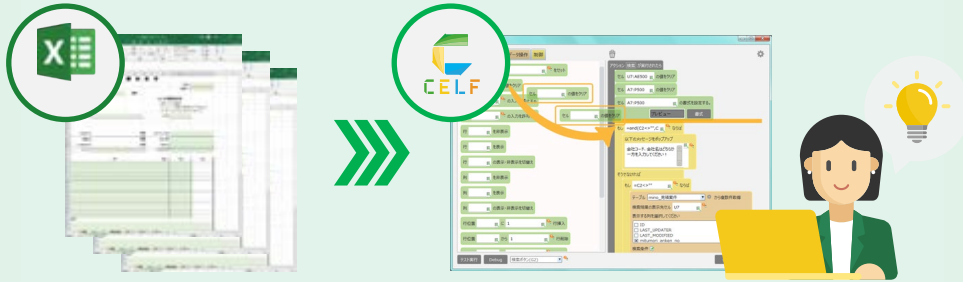
自分たちの行いたい業務にあわせた
業務アプリやRPAロボを作成・運用し、
データをデータベースに収集・管理・共有することで
業務効率化と**データ利活用**、**リスク回避**に役立つツール

 **SELF** = **EXCEL** + **ELF**
(Excelライク) (妖精のように寄り添う存在)

SELF(セルフ)でできること

アプリの開発

業務で使うExcelをアプリ化。
自分で作るから独自のフォーマットにも対応できる。
ノーコード/ローコードで開発。



アプリの運用・データベースでの管理

使いやすいExcelライクな操作性の業務アプリ。
入力されたデータはデータベースに集約。
いつでもリアルタイムに関係者へ共有できる。



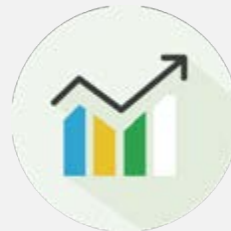
データの利活用促進

情報がリアルタイムで確認できるほか、業務データを元に分析・意思決定をする際に必要なデータの収集・加工作業が削減されるため、データ利活用がすぐに行えます。



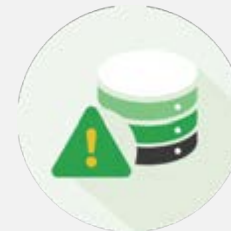
業務効率化

集計・転記業務などはアプリ化することで削減し、また定型業務をRPAで自動化することで、本来の業務に時間を使うことができます。



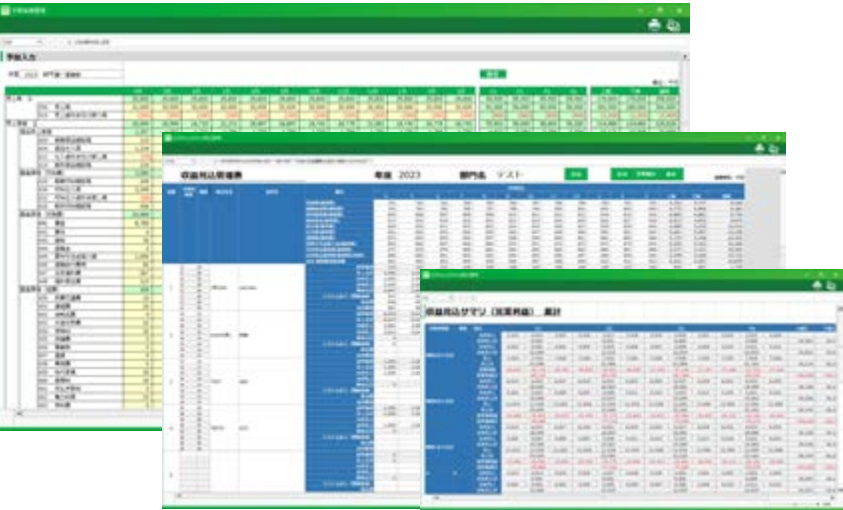
リスク回避

属人的なデータ管理から脱却しデータの一元管理を実現、さらに人が作業することでミスにつながる業務を減らすことができます。

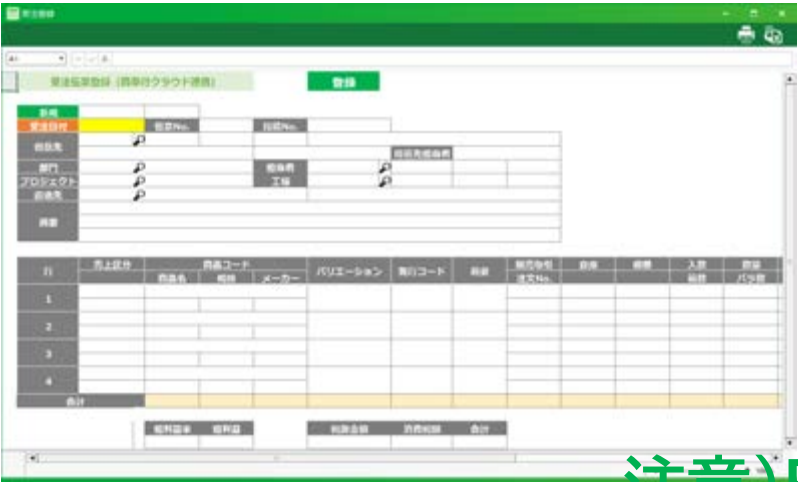


企業独自Excelパターンに対応

予算実績管理／業績見込管理



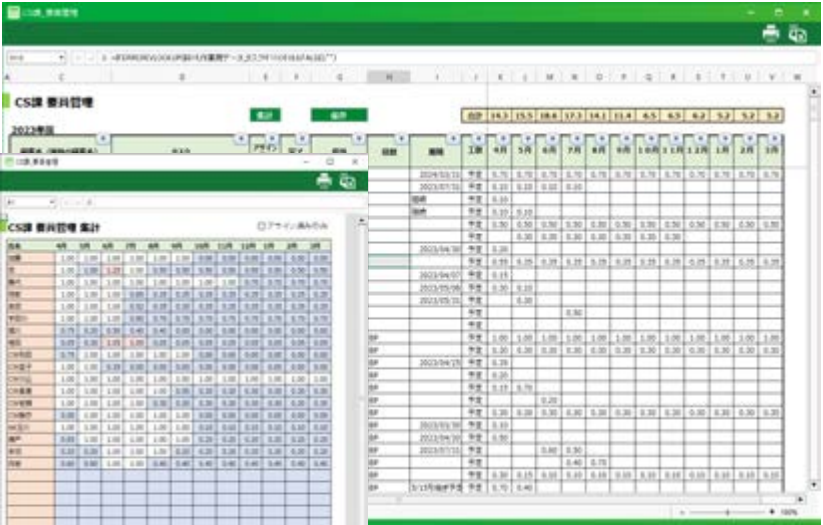
受注伝票登録



単票(見積管理)



要員計画



情報セキュリティ・資産管理(チェックシート)



注意)Excelでは無く、CELfの画面です

Excelファイルから作成 (ノーコード開発)



Excelを取り込んで
アプリ作成！

ビジュアルプログラミングで作成 (ローコード開発)



ブロックを
組み立てて作成！

『業務アプリ』化の3つのメリット

No	ポイント	メリット	これまでの苦労
1	Excel集計業務の負荷低減	集計する必要がない (入力されたデータは集計作業なしでリアルタイムに参照)	Excelフォーマットを各支店・店舗・部署などに配り、入力後に手作業で集計。
		入力ミスを集計前に入力者がチェック・修正できる	集計元でチェックして、指摘があればメール・電話で修正依頼を催促する手間が大きい。
		常に最新のフォーマットになる	集計時に古いフォーマットのままで提出され再入力の手間が発生。
		業務の『属人化』を防ぐ	Excel業務、手作業による業務は属人化を招いているケースが多く、担当者離脱による対応が大きい。
2	データ利活用が可能	大量のデータを取り扱える。(過去5年分、10年分の履歴など数百万件、数千万件でも保存可能) 大量のデータからすぐにデータを探し出せる。	1つのファイルに全データを保存してファイルが開かない。ファイサーバーも肥大化。Excelで作った見積書がファイルサーバに散乱して探すのが大変。
		自動的に結合・加工して他システムへデータを流し込める。	ファイルを手作業で結合・加工してCSVを作成して他システムへ連携させるなどの作業負荷がある。
		データの利活用が手作業なしに可能。	散乱していたり、複数に分かれてるExcelを手作業でマージしなければ、データの整理・分析ができない。
3	リスク回避につながる	同時に利用しても壊れない。	同じセルを編集しないのに、他の人が開いていると編集できない。途中まで作ったものが壊れることがある。
		1つの画面で権限、役割、部門別などに参照できるデータを制限可能	権限、部門別に参照できるデータを制御する場合、複数のファイルに分割して配布。集計時に転記でまとめる。
		重要な情報(個人情報等)を参照する場合にアクセスログを自動的に記録させる。	重要な情報にアクセスして情報漏洩する危険性がある。また、情報漏洩した場合も追跡が困難。



CELFクラウド版 利用料（税抜）

年額 210,000円
or
月額 18,000円

サービス内容

- ・初期費用なし
- ・利用ユーザ数 10ユーザーまで
（追加1ユーザー年額 21,000円／月額1,800円）
- ・ディスク容量 20GBまで
（追加ディスク10GB 年額 13,800円／月額 1,200円）
- ・アプリ作成数 無制限
- ・製品サポート

CELFオンプレミス版 利用料(税抜)

年額 828,000円

サービス内容

- ・利用ユーザ数 50ユーザーまで
（追加10ユーザー単位 年額 165,600円）
- ・110ユーザー以上の場合、ボリューム契約割引あり
- ・製品サポート

CELF RPA 利用料（税抜）

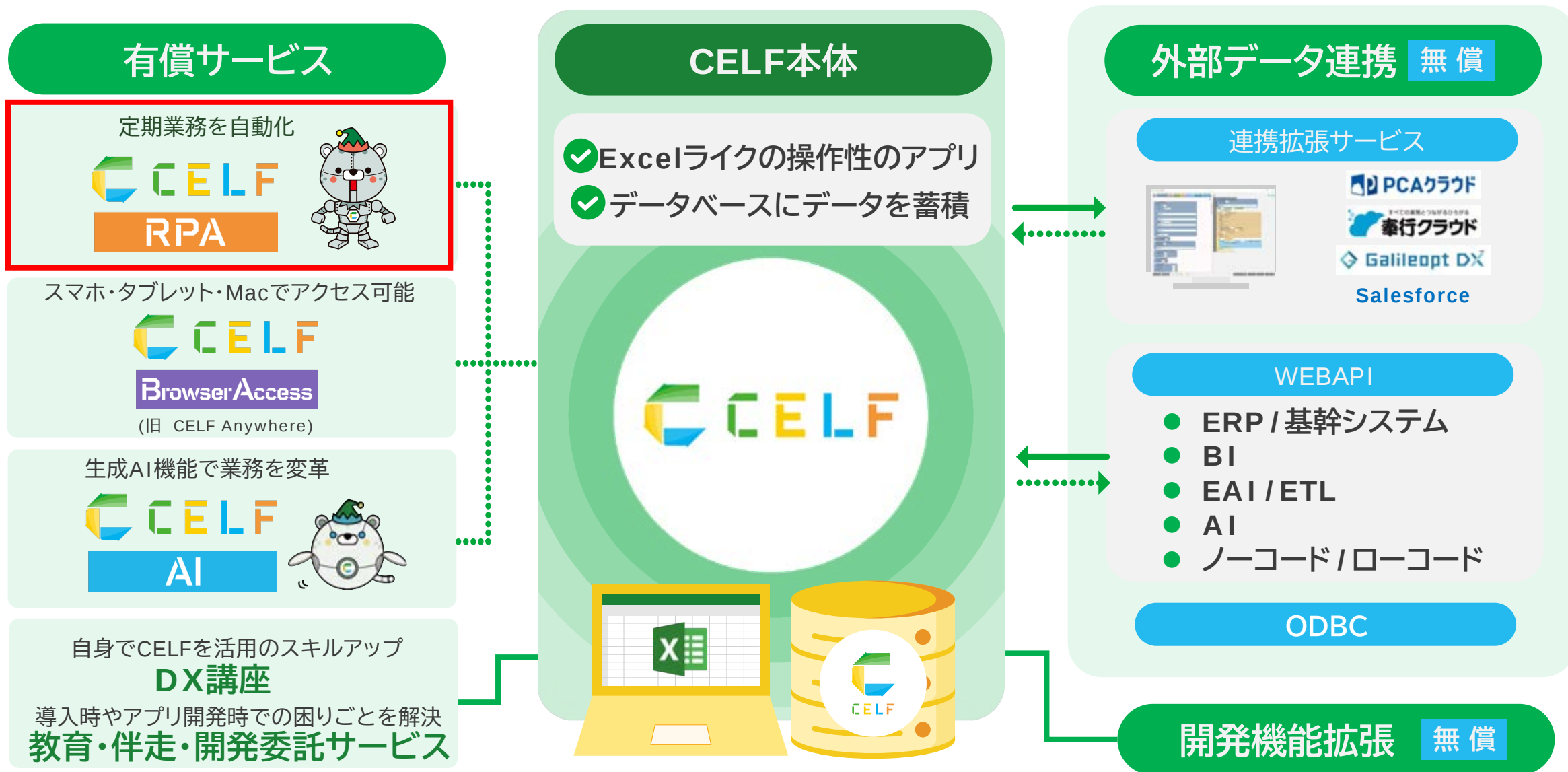
年額 42,000円

サービス内容

- ・1端末
（追加1端末 年額42,000円）
- ・ロボ作成数 無制限
- ・製品サポート

CELF製品群のご紹介

RPA以外にもお客様をサポートするオプションサービスをご用意しています。



個別で
直接相談したい！



CELF営業担当者と1対1でオンライン相談できる「**トライアル前相談会**」をご利用ください
「実際に今使っているExcelがアプリ化できるのかを確認したい」
「自分たちだけで全部できるか不安。アプリ開発委託や教育プログラムについて聞きたい」

https://www.celf.biz/seminar/seminar_news/

CELFを自分で
触ってみたい！



Excelからアプリを自動生成する機能やCELF RPAを含む全ての機能を
30日間使える**無料トライアル**をお試しください

<https://www.celf.biz/trial/>

無料トライアル申込から使用開始までのステップ

1



お申し込みフォームから
お申し込み

2



登録したメールアドレスに
IDとパスワード
をお届け

3



メールに記載された
URLからログインして
お試し開始！

4



**30日間の
無料トライアル**
※正規利用時のすべての機能が
ご利用いただけます。



・無料トライアル終了後、自動的に課金がされることはありません。なお継続してご利用になる場合は別途ご契約が必要です

Excel業務の1歩先へ



Thank you for your attention.



〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20豊洲フロント

E-mail celf_sales@scsk.jp

URL <https://www.celf.biz>

SCSK

夢ある未来を、共に創る。

Copyright ©SCSK Corporation

